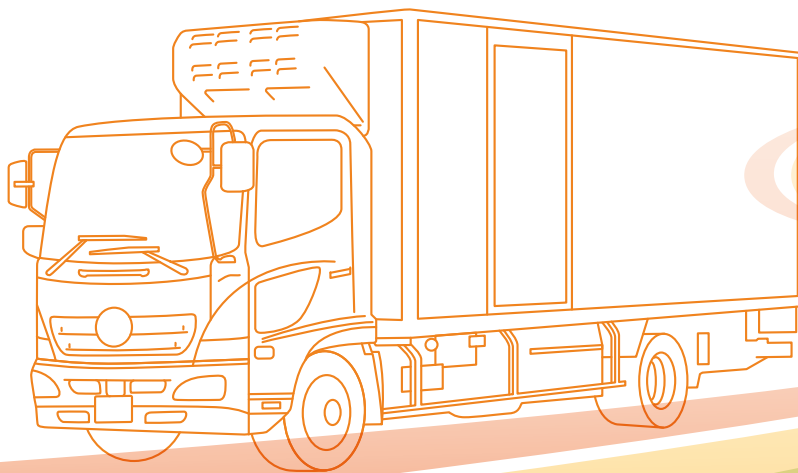




トランテックス

CSR Report 2016

Corporate Social Responsibility



CONTENTS

トップメッセージ	01
会社概要	02
事業紹介	04
商品開発	07

お客様

お役立ち活動	08
品質マネジメント	09
アフターサービス	10

従業員

雇用促進	11
安全衛生	12
安全衛生活動事例	13
人材育成・労使関係	15

環境

環境マネジメント	16
環境目標と実績	17
環境保全コスト	19
環境パフォーマンスデータ	21
省エネルギー・ 省資源・環境リスク低減	22

調達

社会貢献活動	24
--------------	----

コンプライアンス

コーポレートガバナンス	26
-------------------	----

トップメッセージ



株式会社トランテックス
代表取締役社長

原田 泰彦

「安全」「品質」のレベルを高め、 安定した企業・お客様から信頼される企業を目指します。

トランテックスはトラックボデーの開発・設計・製造・販売を通してお客様の最適輸送・最適物流をサポートすることで社会の発展に貢献させていただいております。

これからもより多くのお客様に信頼され、頼れるパートナーであり続けるため、私たちは常にモノづくりの原点に立ち、「安全」そして「品質」のレベルを高めていく必要性を強く感じています。特に安全については、生産量の増加に伴い従業員数も多くなってきていますので、これまで以上に従業員一人ひとりの安全意識向上を図っていきたいと考えております。2014年度より工場部門では全員参加で各職場での危険箇所の摘出と対策を定期的に行い、作業環境の改善を進めてきていますが、引き続きレベルアップを目指して取り組んでまいります。また、設備災害防止の観点から始業前点検等の見直しも積極的に行ない、設備周辺の安全確保と改良保全も進めており、これらの活動を通じて従業員が安心して働ける企業基盤を築いていきます。品質については、様々な企業ブランドが昨今の品質問題により毀損しているのを目にしており、従業員一同改めて品質は企業を支える重要な柱であることを認識し、各工程から不具合を出さない取り組みを行い、お客様から信頼いただける企業を目指していきます。

社内改革を進め、成長を継続させていきます。

中長期的な取り組みとして基幹システムの刷新、生産体制見直し、生産能力の増強等を進めています。2015年度は長年の課題でしたバス部品プレスラインのお取引先様への移管を完了し、替わりに冷凍車専用ラインを敷設することで冷凍車生産が飛躍的に高まりました。また、その他の生産ラインも設備投資を含めた見直しにより生産能力を引き上げ、お客様のご要望に迅速に対応できるモノづくりの実現を進めています。

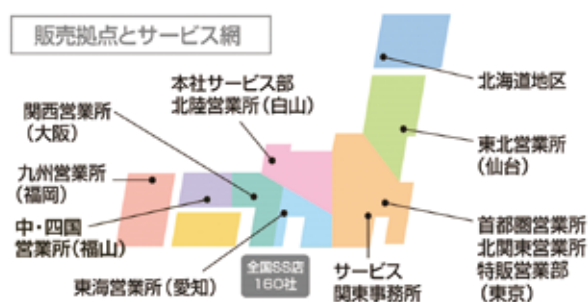
私たちは計画している様々な改革を押し進め、成長を継続させるように努めてまいります。そこに至る過程では、コンプライアンスを遵守する社会から信頼される企業であり続ける必要があります。そのために従業員一人ひとりが社会の基本的なルールを守り、正しい判断と行動を取ることができるように、引き続き社内での啓蒙活動を行っていきます。

コンプライアンス経営を基盤として、「安全」「品質」を向上させ、お客様のご期待に迅速にお応えしながら、継続的に成長をしていきたいと考えておりますので、引き続き弊社ならびに弊社商品に対し一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要 (2016年3月31日現在)

株式会社 トランテックス

- 所在地 石川県白山市徳丸町670番地
- 設立 1930年3月
- 創立 2002年10月
- 資本金 11億円
- 従業員数 1,029名
- 製品 トラックボデー、特殊車両



本社・工場全景

- 敷地面積 103,289㎡
- 延床面積 50,011㎡



主要製品



ウイングシリーズ



バンシリーズ



ブロック塀シリーズ

トランテックス基本理念

基本理念は会社の使命と基本方針からなり、私たちトランテックスが社会の中で存在する意義、社会に対して果たすべき責任や方針を明確にしております。

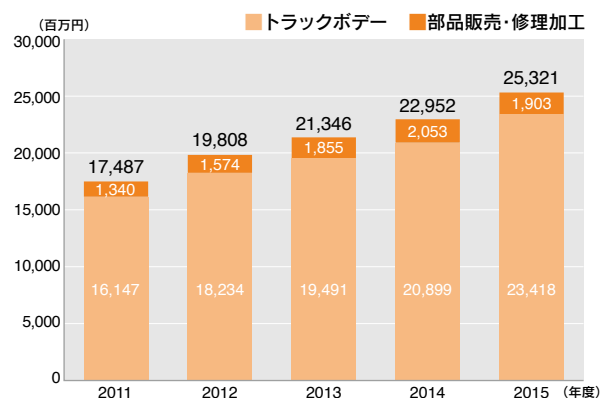
会社使命

- 地球環境に配慮し、輸送文化を創造し、未来社会に貢献する
- お客様に信頼され、頼れるパートナーとして輸送・物流をリードする

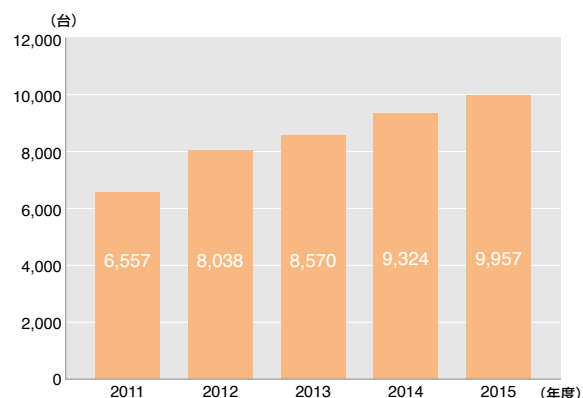
基本方針

- 人と地球環境に配慮し、社会とのつながりを大切にする
- 常に技術革新に努め、お客様のお役に立つ商品やサービスを提供する
- 変化を的確に捉え、社会との調和を図り、グローバルな視点で事業展開を行う
- 社員の能力を最大限に発揮し、プロ集団としての総合力を高める

売上高推移



トラックボデー生産台数推移



決算の要旨 (2015年度末)

貸借対照表

単位: 百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	13,485
流動資産	11,975	流動負債	11,076
固定資産	6,982	固定負債	2,408
有形固定資産	5,280	純資産の部	5,472
無形固定資産	386	株主資本	5,066
投資その他の資産	1,314	評価・換算差額金	406
資産合計	18,957	負債純資産合計	18,957

損益計算書

単位: 百万円

科 目	金 額
売上高	25,321
売上原価	22,143
売上総利益	3,177
販売費及び一般管理費	2,118
営業利益	1,058
営業外利益	50
営業外費用	10
経常利益	1,098
特別利益	1
特別損失	97
税引前当期純利益	1,003
法人税等	342
当期純利益	660



事業紹介

大・中・小型のトラックボデーを開発・設計・製造・販売し、アフターサービスとしてリニューアル工事や部品販売を行っています。

トラックボデー生産

■大型車シリーズ

長距離、大量輸送に欠かせない大型シリーズです。積載量重視型、容積重視型、専用輸送型など、おすすめ仕様のほか、用途に合わせた最適ボデーをご提案いたします。

ドライバン



ハイスター・バン（ハイスライダー付）

冷凍バン



ハイスター・冷凍

フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍

ドライウイング



ハイウイングMAX

冷凍機付ウイング



ハイウイングMAXクール（冷凍機付）

冷凍ウイング



ハイウイング・コールド“S”

幌ウイング



ワンタッチ幌（手動式）

ブロック振り



ハイブロック

■中型車シリーズ

配送から長距離輸送まで、あらゆるシーンで活躍する中型車シリーズです。軽量タイプや、おすすめ仕様のほか、用途に合わせたボデーをご提案いたします。

ドライバン



ハイスター・バン

冷凍バン



ハイスター・冷凍

フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍

フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍（床下格納式リフター付）

冷凍機付ウイング



ハイウイングMAXクール（冷凍機付）

ドライウイング



ハイウイングMAX

幌ウイング



ワンタッチ幌（手動式）

ブロック煽り



ハイブロック

■小型車シリーズ

市街区の集配から中・近距離輸送に最適、機敏な小型車シリーズです。

ドライバン



ハイスター・バン

フラットパネル冷凍バン



ハイスター・冷凍

ドライウイング



ハイウイングMAX

ブロック煽り



ハイブロック

リニューアル・部品販売

ボデーの載せ替え、キャブ・ボデー塗装、リア扉外板張替え、デザイン文字製作等や修理・ドレスアップ用の部品販売を行っています。

■ドレスアップ部品の一例

【アルミ製及びステンレス製サイドガード】



アルミ角パイプ型



ステンレス丸パイプ型



ステンレス角パイプ型

【煽り中間部ウイングロック】



オールステンレス製



BOX本体のみ
ステンレス製

商品開発

■連結全長21mの新規格フルトレーラウイング

国土交通省による規制緩和を受け、フルトレーラの連結全長が19mから21mに拡大されています。当社が開発したフルトレーラウイングはT11パレット（1,100mm×1,100mm×144mm）の輸送枚数がトラクタ側で18枚、トレーラ側で14枚の合計32枚にも達する、ワンマンで最も大量輸送できるセンターアクスル式フルトレーラウイングです。内寸高は2,705mmで庫内容積は116m³もあり、セミトレーラを凌ぐ高容積です。荷量が少ないときは、大型トラック単独でも運行可能です。



フルトレーラの使用には積み降ろし場所の確保やサービスエリア・パーキングエリアでの駐車スペース確保、高速道路料金が割高になる等の課題もありますが、大量輸送に伴う輸送回数の削減による排出CO₂削減や燃料費の削減だけでなく、運送業界で昨今、叫ばれているドライバー不足の解消や運行車両数の減少による交通渋滞緩和も見込まれる等のメリットもあり、普及が望まれています。

【主な装備】



レバー操作式連結器（ヘルマウス）



跳ね上げ式リヤバンパ（連結時は跳ね上げる）



トレーラ側へのブレーキエアや電気の供給部



トレーラ補助脚（前後各1本）



トレーラ用ウイング・室内灯スイッチ



トレーラエアサスハイトコントロール

お客様

お役立ち活動

営業部門は本業であるポデー販売はもちろん、お客様の様々なご要望・お悩みにお応えし、お客様の本業の発展に少しでも貢献させていただきたいと考え、「お役立ち活動」を行なっています。「お役立ち活動」の一環で、お客様に当社の持つノウハウを「お役立ちメニュー」として18種類をご用意させていただいております。これからもより多くのお客様にご案内させていただき、お客様のお役に立ちたいと考えております。

2015年度は87社で111メニューを開催させていただき、各回ともお客様からは大変役に立ちましたとのコメントをいただきました。ご興味をお持ちの方がおられましたら、最寄の営業所までお問合せください。



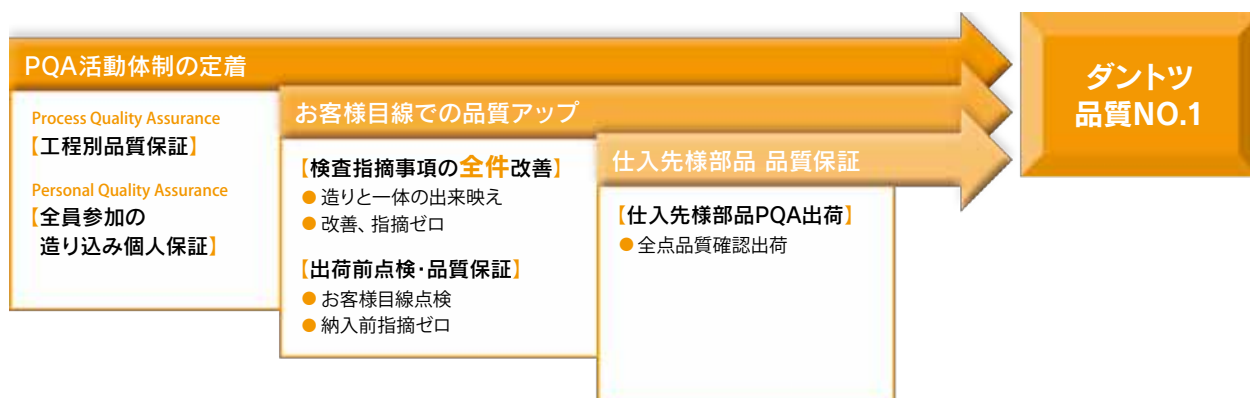
【トランテックスお役立ちメニュー 一覧】

項 目	内 容
冷凍バンの取扱いについて	予冷や庫内換気、日常点検等冷凍バンをお使いになる際の基本的な注意点をご説明します。
冷凍バンでの品質管理について	冷凍バンに荷物を積み込む際の注意点及び荷台のコンディションを保つためのポイントをご説明します。
冷凍ポデーのメンテナンス	ポデー各部の点検要領や各部シールの補修方法など現車で実際に点検しながらご説明します。
冷凍車の商品知識	構造や仕様、商談のポイントをご説明します。
ウイングの取扱いについて	開閉操作や荷物の積み方など、ウイングをお使いになる際の基本的な注意点をご説明します。
ウイングへの安全な荷積みについて	ウイング構造の特徴を紹介したうえで、構造的な要因から必要となる荷物を積み込む際の注意点をご説明します。
ウイングポデーのメンテナンス	各部の点検要領や油圧装置のメンテナンス方法を現車で実際に点検しながらご説明します。
ロールボックス輸送の注意点	種々の固定方法による荷台内でのロールボックス（ワゴン）の動きをビデオで紹介し、荷台への影響をご説明します。
車輛後退時の安全確認講習	バックミラーの死角やバックカメラのモニター映像の特性についてご説明します。
テールゲートの安全操作	事故事例を紹介しながら、操作する際の注意点、ゲート装着車の特性を説明します。また、ゲートを操作しながら、操作及び点検方法をご説明します。
荷卸し作業KYT	特に荷卸し作業をテーマとしてKYT基礎4ラウンド法によるグループ討議を行ないます。
TTS安全管理手法のご紹介	防災意識向上策や設備の点検方法など当社製造部で実施している様々な安全管理手法をご紹介します。
ラッシングベルト使用時の注意点	ラッシングベルトの縛り方による積荷への影響、ベルトのメンテナンス方法をご説明します。
リヤポデーお手入れ方法のご提案	リヤポデーの頑固な汚れを落とす各種洗剤等をご紹介します。
TTS改善事例のご紹介	トヨタ生産方式をベースにした作業の見直し方や省くべき作業の考え方と当社製造部の改善事例を用いて説明します。
乗務員様マナー研修	服装・挨拶・言葉遣いを実際の業務をロールプレイングで再現しながら説明します。
コンプライアンス講習	コンプライアンスの必要性や普段の業務においてどのような事に気をつけるべきかを事例を用いて説明します。
体調管理講習	運転に大きな影響がある睡眠・飲酒・肥満について自己診断方式や予防法をご説明します。

品質マネジメント

品質管理活動方針

当社では①PQA活動体制の定着②お客様目線での品質アップ③仕入先様部品品質保証の3点を具体的な取組み方針とした「ダントツ品質NO.1」を品質管理活動方針としています。



ダイヤモンド賞を受賞

当社は日野自動車株式会社様の出荷品質基準を満たした会社に送られる2015年度ダイヤモンド賞を受賞（5年連続で通算6度目）いたしました。今後も引き続き受賞できるように品質管理を徹底していきます。

【出荷品質表彰歴】

◎：ダイヤモンド賞、☆：プラチナ賞（3年連続ダイヤモンド賞）

08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
◎	—	—	◎	◎	☆	◎	◎



本社エントランス



授賞式の様子

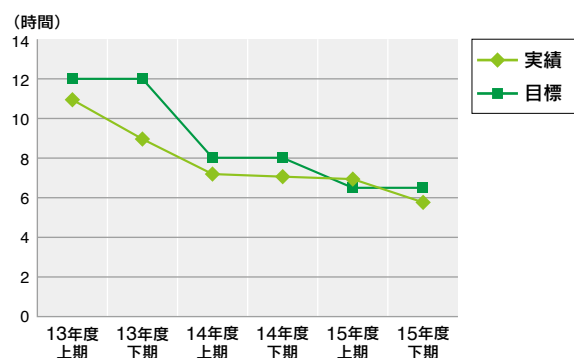
アフターサービス

アフターサービスNO.1を目指して

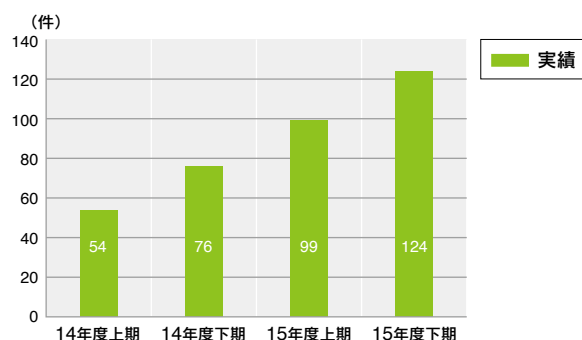
サービス部門ではアフターサービスNO.1に向けて、お客様に商品をお届けした後も、お客様の身近な存在として、全国の販売会社様、SS店様と連携しながら、すばやく正確な修理を実施させていただくことで、お客様にご満足いただけるアフターサービスを目指しております。

お客様に有事が発生した際の初動対応については、お客様のもとに到着するまでの時間（ポデータッチタイム）を数値化し、目標と実績を管理しながら活動のレベルアップに役立てております。また、新車納入後3ヶ月でポデーの無料点検を実施する巡回サービスにも力を入れており、初期不良の防止とともにお客様とコミュニケーションを密に取りながら、様々な情報提供や意見交換をさせていただいております。これからもお客様にご満足いただけるアフターサービスを目指して取り組んでいきます。

【初動対応タイムの推移】



【定期訪問件数】



サービス講習会の開催

販売会社様の技能向上のため、ウイング作動油交換の実演講習会等も開催させていただきました。今後もこのような活動の幅を広げていき、販売会社様とともにユーザー様へのサービスの質向上を図っていきます。



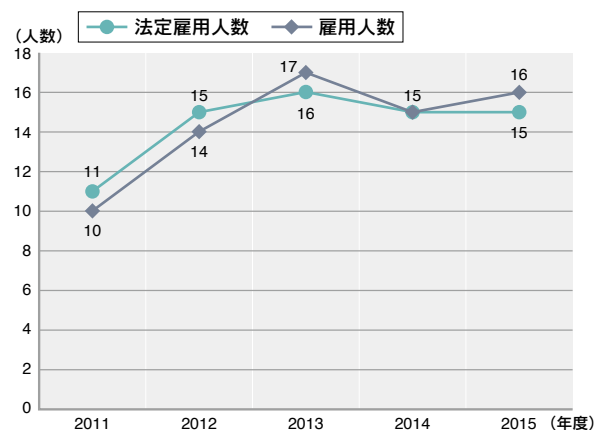
従業員

雇用促進

障害者雇用への取り組み

製造部門を中心に働きやすい環境整備を進め、積極的に障害者雇用を進めています。2015年度は障害者法定雇用人数15名に対して16名の方を雇用させていただいておりますが、これからも一人でも多くの方の雇用・定着に繋がるようにハローワーク様等のご支援を受けながら、取り組みを進めていきます。

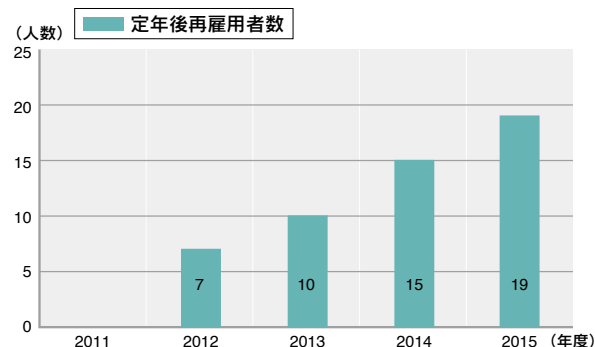
【障害者雇用人数の推移】



60歳定年後の再雇用への取り組み

当社の商品は一品一様のため、技術の習熟にも時間がかかり、品質維持向上のためには高い技術を持つ従業員が必要となっております。また、定年後でもこれまで培った技術を活かして働きたいという方にも安心して働いていただける職場の整備も必要となっております。そこで当社では定年退職を迎えられた方の希望をお聞きしながら再雇用を進めさせていただいており、2015年度は19名の方の雇用をさせていただいております。

【定年後再雇用者人数の推移】



正社員登用への取り組み

多様な人材を様々な年代・経歴から採用するため、新卒採用に加えて即戦力としての中途採用、そして期間従業員として当社で勤務していただいている方の中から本人の希望と職場からの推薦があった方を対象とした正社員登用を積極的に行っております。2015年度は大卒・高卒を含めた新卒採用で21名、中途採用で3名、期間従業員の正社員登用で19名の採用を行いました。

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
新卒採用	0	21	18	20	21
中途採用	1	4	3	9	3
期間従業員の正社員登用	9	12	12	35	19

安全衛生

安全衛生への取り組み

当社は「安全は全てに優先する」を安全衛生基本理念に掲げ、総括安全衛生管理者をトップに、産業医と連携しながら「人への安全意識向上」「快適職場環境づくりの推進」「心身の健康管理」「通勤災害の防止」の4つの観点から各種取り組みを実施することで、自主自立の安全文化構築を進めています。

安全衛生基本理念

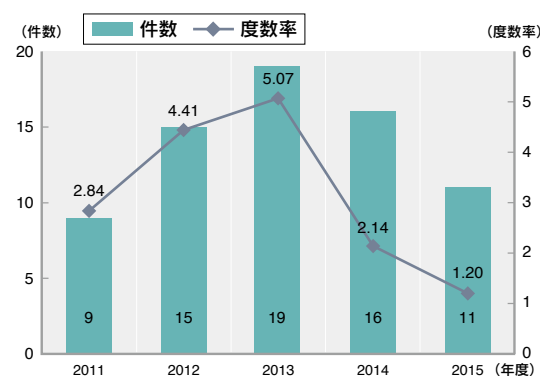
「安全は全てに優先する」

- 安全なくして、企業の発展なし
- ルールを守らずして、安全なし
- プロとしての自覚なくして、安全なし

【2015年度の主な活動】

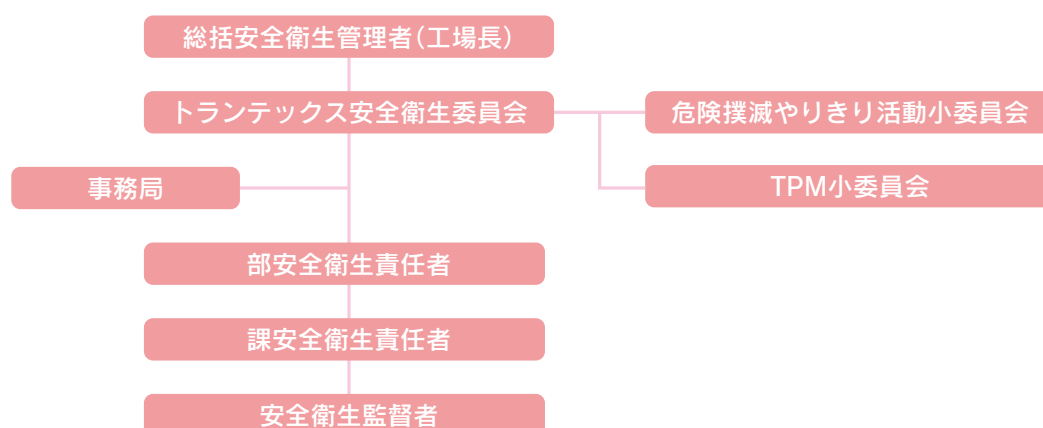
	実施事項	関連頁
人への安全意識向上	危険撲滅やりきり活動の継続	P13・P14
	安全パトロール強化による安全感度向上	—
	AED教育の実施	P14
快適職場づくりの推進	熱中症対策の実施	P14
心身の健康管理	定期健康診断結果に基づく健康指導	—
	健康知識の習得に向けた講演会開催	P14
通勤災害の防止	シートベルト、ヘルメット着用のチェック	—

【災害発生件数と度数率】



安全衛生組織

当社では安全衛生活動を円滑に推進するために、トランテックス安全衛生委員会を毎月1回開催しており、委員会構成メンバーは委員長1名（工場長）、副委員長2名（うち1名は労働組合委員長）、会社側選任の15名の従業員、労働組合側選任の15名の従業員、産業医1名、及び各子会社代表者となっています。また、トランテックス安全衛生委員会の下には2つの専門小委員会を設置し、効率的に且つ重点的に活動を行う体制を整備しています。



安全衛生活動事例

危険撲滅やりきり活動

各職場単位で事故やケガにつながる可能性のある場所や危険な作業姿勢・作業方法を洗い出し、危険度が一定レベルに下がるまで改善を実施する活動を継続させています。職場内で危険予知した内容や改善の進捗レベルを見える化することで、安全意識の向上と改善までのスピード感を維持するように心がけています。

【保護カバー設置】

材料が飛び出ている危険であった



改善前

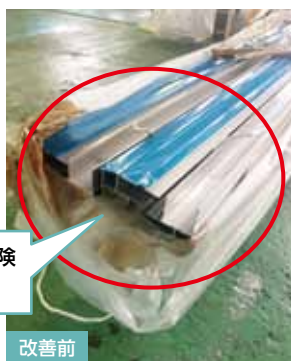


保護カバーを設置し、接触を回避



改善後

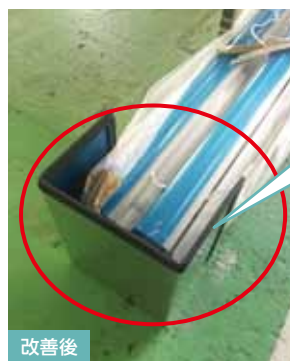
材料が飛び出ている危険であった



改善前



保護カバーを設置し、接触を回避



改善後

【作業姿勢の改善】

外板清掃をするために脚立の上段で背伸びをして作業を行っていた



改善前



階段式で手すりの付いた作業台に変更し、安定した姿勢・位置での作業が行なえる様になった



改善後

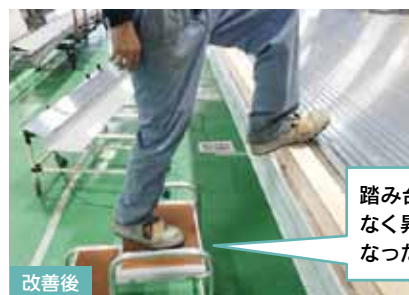
作業場所の床への昇降作業時に無理な姿勢が生じていた



改善前



踏み台を設置し、無理なく昇降できるようになった



改善後

【作業方法の改善】

スパナが回転した時、シャシフレームとスパナの間に手を挟む恐れがあった



改善前



L型のレンチを作製し、シャシフレームの中に手が入らないようにした



改善後

ハンマーと指が近いため指を叩く恐れがあった



改善前



専用工具を製作し、指をハンマーで叩かないようにした



改善後

AED教育

従業員の心肺停止の緊急時に備え、社内にはAED（自動体外式除細動器）を2台配備しており、従業員に対しては継続的な教育を実施しています。2015年度は39名を対象に行い、心肺停止時の対応方法の基礎知識やAEDの使用方法について習得いただきました。



講師による基礎知識講習



AEDを使用した実習

安全衛生講演会の開催

当社では全国安全週間期間中に安全衛生講演会を開催しています。2015年度は産業医を講師として有機溶剤による健康障害をテーマとして実施し、有機溶剤取扱上の注意点や職場環境改善の方法、身体に異常が発生した際のポイントについて解説をしていただきました。



安全衛生講演会

熱中症対策の実施

各職場では温湿度計による職場環境の熱中症危険度チェックを行いつつ、特に汗をかく工場部門には各職場ごとに給水機器の設置や経口補水液・ミネラル飲料水の粉末・ビタミン剤・固形食塩の配布を行い、体調管理を行っています。



各職場で適宜、水分・ビタミン・ミネラルを摂取し、熱中症発症を防止している

人材育成・労使関係

人材育成

階層別研修や各部門別での研修を通じてマインド形成やスキルアップを行い、様々な環境変化に対応できる人材育成を行っています。

新入社員研修ではビジネスマナー・安全教育・技能教育基礎知識の習得・トヨタ生産方式基礎知識の習得等を通じて、社会人として、また、トランテックスの一員として活躍できる技術・知識の理解・習得を行っています。

開発部門では、設計支援ツールの使用方法や車両法規情報・新商品情報等の共有化を目的に全員参加でのスキルアップ研修会を定期開催し、設計品質の維持・向上を図っています。また、日々の活動では少人数単位でのチーム活動でOJTを進め、若手従業員の疑問やつまづきを随時解消するだけでなく、技術者としての考える力の育成も進めています。

【2015年度に実施した主な研修内容】

階層別研修	新任管理職研修
	新入社員研修・フォーアツプ研修
部門別研修	製造部門工長・職長研修
	製造部門新任工長研修
	製造部門仕事の教え方研修
	営業担当者スキルアップ研修
	サービス担当者スキルアップ研修
	開発部門スキルアップ研修
	開発部門中間層研修



開発部中間層研修



開発部スキルアップ研修



製造部仕事の教え方研修



製造部新任工長研修

労使関係

トランテックスとトランテックス労働組合は定例の労使会議を持ち、様々な検討を重ね、労働条件の改善に努めています。また、労働組合側からの職場環境改善要求を通じて一歩ずつ改善を進めています。

環 境

環境マネジメント

環境基本方針

トランテックスは、地球環境の保全を経営における最重要課題の1つであるとの認識のもと、2003年10月、企業理念に基づく「トランテックス地球環境憲章」を制定し、環境保全活動を積極的に進めています。

■基本方針

1. 地球環境の保全を総合的かつ長期的に進める

地球環境問題は、重要かつ深刻であるとともに、自動車は広い範囲でこの問題に関わっているとの認識のもとに、全社を挙げて、仕入先等の関係者とも協力して、開発から生産、販売、使用、廃棄に至る全ての段階における環境への影響を考慮した環境保全のための対策を、長期的視点に立って推進する。

2. 地球環境の保全を広い視野で身近な行動から進める

豊かで住みよい地球をめざして、事業活動の範囲内だけでなく、社会においては良き市民として、地域社会においては良き隣人として、環境保全のための行動を進める。

■行動指針

1. 環境負荷のより小さい事業活動をめざす

- 工場・事業所の立地における環境への配慮
- 地球環境にやさしいトラックボデーの開発
- 排出物を極力出さない生産活動
- 省エネルギーと省資源、リサイクルの推進

2. 関係者と協力しながら進める

仕入先、関係会社等と協力し、事業活動の様々な段階において、また、事業所の内と外とにおいて、環境保全に努める。

3. 社会への貢献を心がける

社会においては良き市民として、また、地域社会においては良き隣人として、社会や地域における環境保全の諸活動に協力する。

4. 自己啓発を図る

社会に対して開かれた企業として、また、企業人であるとともに良き市民として、地球環境問題に関して広く社会に学び、会社ならびに社員ともに自己啓発を図る。

本社・工場環境方針

本社・工場では基本理念、トランテックス地球環境憲章及びトランテックス地球環境行動計画等を受けて、本社・工場の環境に与える影響（著しい環境影響）、関連法規、利害関係者との関係等を配慮し、継続的改善及び汚染の予防のための基本方針（行動原則）として、本社・工場環境方針を定めています。

トランテックスは、トラックボデーなどの開発・生産・販売・サービスを通じて、環境に与える影響を常に認識し、白山の豊かな自然や社会と調和する企業を目指して、全員参加で環境保全活動を推進します。

1. 私たちは、環境管理システムの効果的な運用と継続的改善をはかり、環境汚染の予防に努めます。
2. 私たちは、環境に関する法規制や私たちが守ると約束した協定・指針などを遵守し、社会とのつながりを大切にします。
3. 私たちは、環境への排出物や廃棄物を抑え、リサイクルを推進し、エネルギーや資源の効率的な利用を進めます。
4. 私たちは、環境に負荷を与える有害な物質の使用量を減らし、ライフサイクルを考慮した環境に優しい製品の開発を進め、提供します。

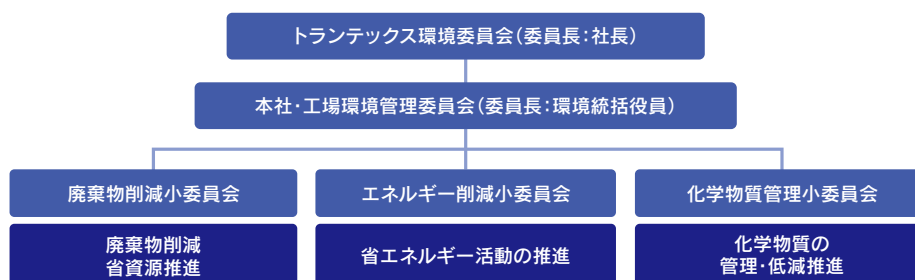
環境目標と実績

【2015年度環境活動実績】

項目	活動内容	活動実績		関連頁	
自然共生社会の構築 環境保全と	生産活動における環境負荷物質の低減 VOCの低減 ●塗着効率の高い機器への更新	●静電スプレーの導入		P21	
	項 目	2015年度目標	2015年度実績		評 価
	VOC原単位 (g/m ³)	135	103		○
	自然共生社会構築に資する社会貢献活動の推進	●「クリーンビーチいしかわ」 海岸清掃イベントに参加 ●本社工場周辺清掃活動の実施		P24	
低炭素社会の構築	生産活動における省エネ活動の徹底と 温室効果ガス排出量の低減 生産CO ₂ の低減 ●生産性改善による工場稼働時間短縮 ●高効率設備・ 機器への更新	●蛍光灯のLED化 ●コンプレッサーの更新		P21 ・ P22	
	項 目	2015年度目標	2015年度実績		評 価
	生産CO ₂ 原単位 (ton-CO ₂ /台)	0.452	0.424		○
	物流活動における輸送効率の追求とCO ₂ 排出量の低減 物流CO ₂ の低減 ●効率的な完成車輸送の実施	●ボデー運搬時のトレーラー活用		P24	
	項 目	2015年度目標	2015年度実績		評 価
物流CO ₂ 原単位 (千ton-CO ₂ /トンキ口)	0.0678	0.0679	×		
循環型社会の構築	生産・物流における排出物の低減と資源の有効利用 排出物の低減 ●歩留まり改善	●金属歩留まり改善		P21 ・ P22	
	項 目	2015年度目標	2015年度実績		評 価
	排出物原単位 (ton/台)	0.213	0.202		○
	廃棄物の低減 ●廃棄物の有価物処理化	●廃シンナーの有価物処理			
	項 目	2015年度目標	2015年度実績		評 価
	廃棄物原単位 (ton/台)	0.111	0.105		○
	物流梱包包装材の低減 ●メール便活用 ●梱包材簡素化	●メール便の積極的活用 ●梱包材簡素化の推進と徹底			
	項 目	2015年度目標	2015年度実績		評 価
	梱包材原単位 (ton/百万円)	0.037	0.033		○
	水使用量の低減 ●埋設配管漏水対応	●漏水ヶ所の修繕対応			
	項 目	2015年度目標	2015年度実績		評 価
	水使用量原単位 (m ³ /台)	21.5	18.5		○
環境経営	環境教育活動の充実と推進	●各部署での教育実施		P20	
	環境情報の積極的な開示とコミュニケーションの充実	●CSRレポート発行 ●近隣町内会役員の方を交えての地域懇談会開催 ●工場見学の受入れ		P24	
	異常苦情ゼロ・リスクの最小化	●環境パトロールの定期実施 ●環境管理責任者（環境管理者）による定期パトロール ●対象環境リスクへ計画的な対応		P22	
	環境マネジメント	●環境監査実施 ●環境コスト把握 ●PCB廃棄物の適正処理 ●地下水保全		P19 ・ P20	

マネジメント推進体制

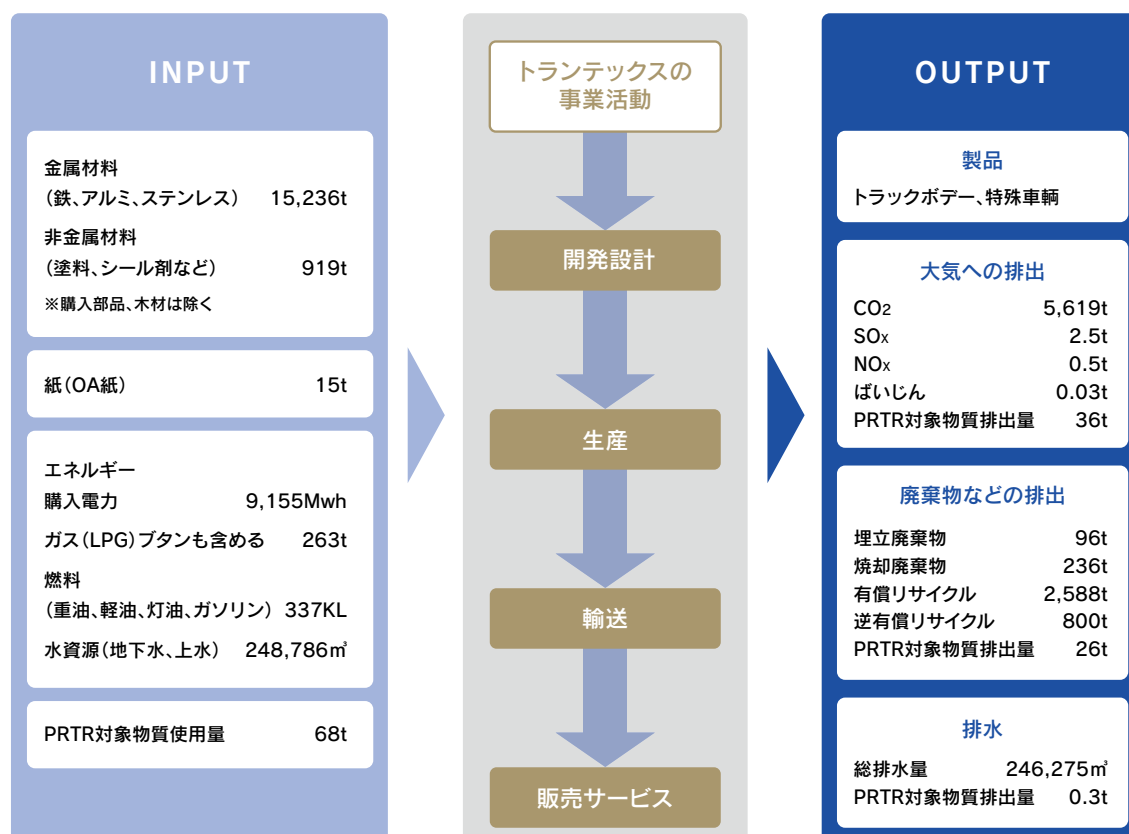
トランテックスは、環境保全を推進するため、全社的組織として社長を委員長とする「トランテックス環境委員会」を設置し、基本方針の決定と諸活動の総合推進を図っています。また、下部組織として本社・工場環境管理委員会と3つの専門委員会を設置し、本社・工場環境管理委員会は、原則毎月開催とし各種課題の進捗管理・検討・審議等を行なっております。また、3つの専門委員会は、事業活動による環境負荷の低減として大きな課題であるCO₂低減・VOCなどの化学物質低減・廃棄物低減などの個別の専門テーマに対して、部門横断的な視点からアプローチをしています。



事業活動と環境影響

事業活動における投入資源（インプット）と排出による環境負荷（アウトプット）を定量化し、環境への影響を把握して、環境負荷低減活動に活用しています。

【事業活動における2015年度の投入資源と環境への排出】



PRTR (Pollutant Release and Transfer Register) : 有害化学物質排出・移動登録制度
SO_x: 硫黄酸化物 NO_x: 窒素酸化物

環境保全コスト

環境保全コストおよび効果を定量的に把握し、環境保全活動に効果的かつ継続的に取り組むため、環境会計に取り組んでいます。尚、環境保全コストは①投資額は対象期間の投資のみとする②経費の中に減価償却分は含めない③環境保全以外の目的を含んでいる設備投資や費用については、環境対応分が明確に把握できるもののみ計上することとしました。環境保全対策にともなう経済効果については、把握可能な項目のみ集計しました。

【2015年度の環境コストの集計結果】

[単位:百万円]

		2013年度		2014年度		2015年度	
		投資額	費用	投資額	費用	投資額	費用
事業エリア内コスト	公害防止コスト	8.1	8.3	114.6	8.6	21.1	6.3
	地球環境保全コスト	17.4	—	15.6	—	20.5	—
	資源循環コスト	2.3	65.2	8.4	74.3	—	73.8
	計	27.8	73.5	138.6	82.9	41.6	80.1
上・下流コスト		—	—	—	—	—	—
管理活動コスト	EMSの整備、運用	—	1.7	—	1	—	1.6
	環境測定	—	3.6	—	3.5	—	3.7
	従業員の教育	—	—	—	—	—	—
	景観保持	—	—	—	—	—	—
研究開発コスト		—	—	—	6.1	—	—
社会活動コスト		—	—	—	—	—	—
環境損傷対応コスト		—	—	—	—	—	—
合 計		27.8	78.8	138.6	93.5	41.6	85.4

【2015年度の経済効果の集計結果】

[単位:百万円(—は十万円未満)]

経済効果	2013年度	2014年度	2015年度
リサイクルによる事業収入	87.0	88.9	56.4
省エネルギーによるエネルギー費の節減	3.7	1.2	3.8
省資源又はリサイクルに伴う廃棄物処理費の削減	7.3	—	14.5

【2015年度の物流効果の集計結果】

[単位:百万円(—は十万円未満)]

物流効果	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素 (t-CO ₂)	—	—	33.4
廃棄物総排出量低減 (t)	182.8	—	345
PRTR対象物質排出量・移動量削減 (t)	1.5	—	—

環境監査

環境マネジメントシステムの適合性・有効性を客観的に評価するため環境内部監査を行い、監査で取り上げられた事項はマネジメントシステム改善のために活用しています。また、国際システム審査株式会社に外部審査を委託し、第3者の立場で評価をいただいております。2015年度は当社のマネジメントシステムがISO14001の要求事項に引き続き適合しているとの評価をいただきました。



外部審査

環境教育・訓練

環境事故は環境汚染につながるだけでなく、近隣住民の方々や生産活動にも大きな影響を及ぼす可能性があることを再確認するため、各職場単位で毎年、環境教育・訓練を実施しています。これからも継続的に実施し、環境意識の高い職場作りを進めていきます。



環境教育



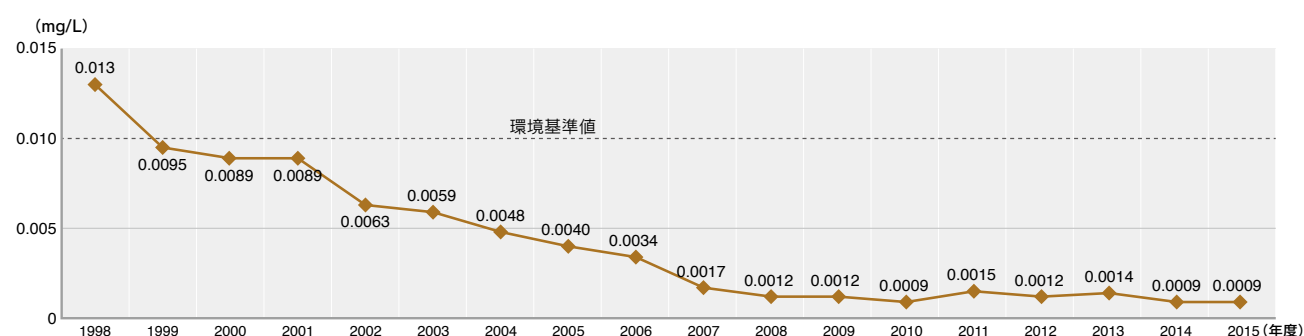
緊急事態対応訓練

PCB廃棄物の保管と処理

当社ではこれまでに合計29台のトランス・コンデンサ等の高濃度PCB廃棄物を中間貯蔵・環境安全事業株式会社様で適正に処理し、2016年度は蛍光灯安定器等の処理を行う計画となっています。また、微量PCB廃棄物のトランス・コンデンサ・油遮断機等についても、国の処理認定を受けた処理業者様に依頼し、適性に処理を行いました。

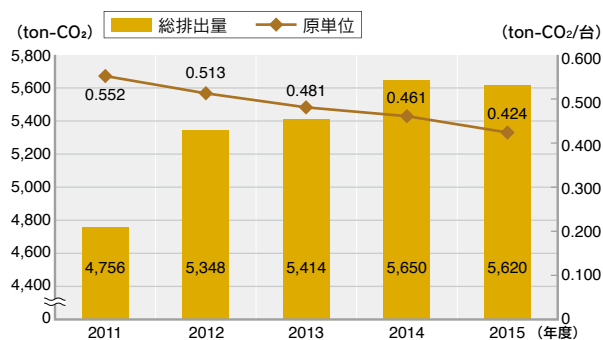
地下水保全への取り組み

当社では、過去に有機塩素系化合物であるテトラクロロエチレンを使用しており、1996年に使用を全廃致しましたが1998年に本社・工場敷地内の1ヶ所で環境基準を上回るレベルが確認されました。1998年以降行政指導の下、積極的に浄化対策を進めており、土壌内の汚染ガスの吸引及び地下水揚水による浄化対策の結果、濃度は低位で安定しております。

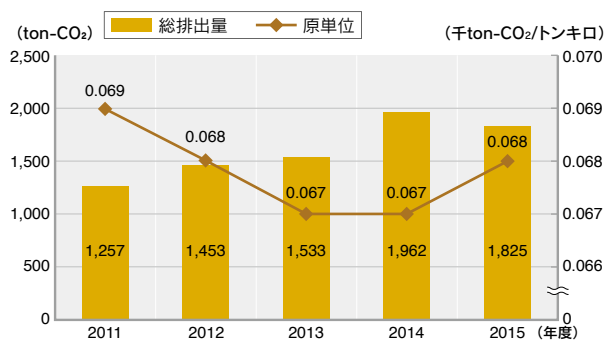


環境パフォーマンスデータ

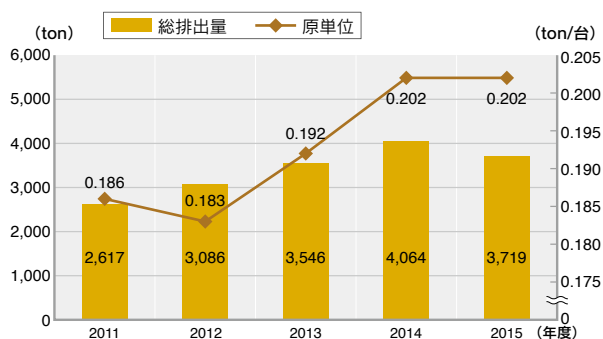
【生産CO₂】



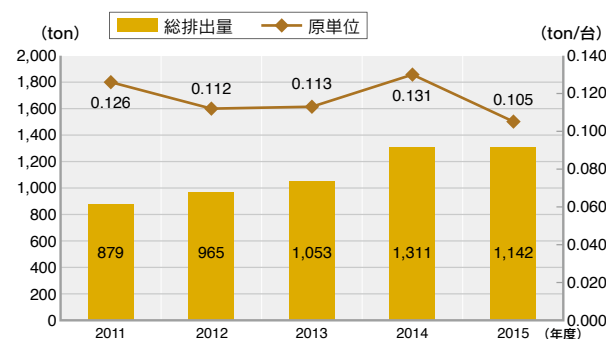
【物流CO₂】



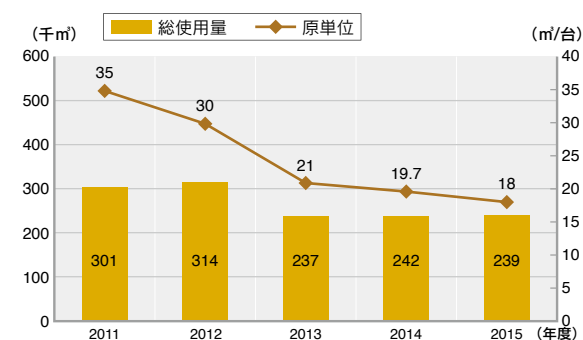
【排出物】※1



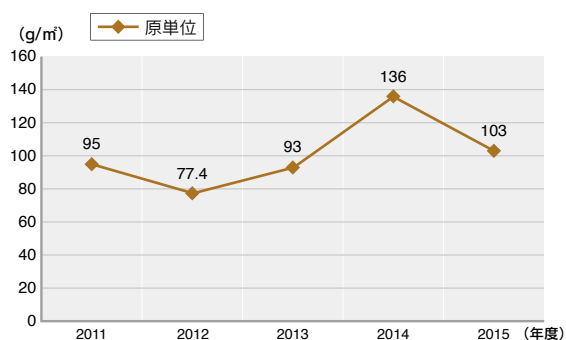
【廃棄物】※2



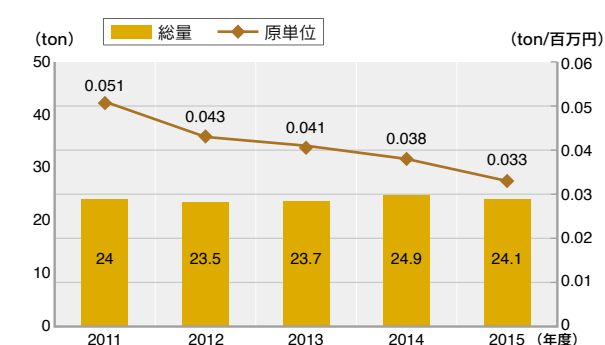
【水使用量】



【VOC】※3



【物流梱包包装資材】



※1

排出物＝有償リサイクル＋逆有償リサイクル＋焼却＋埋立

※2

廃棄物＝逆有償リサイクル＋焼却＋埋立

※3

VOC(Volatile Organic Compounds)：揮発性有機化合物

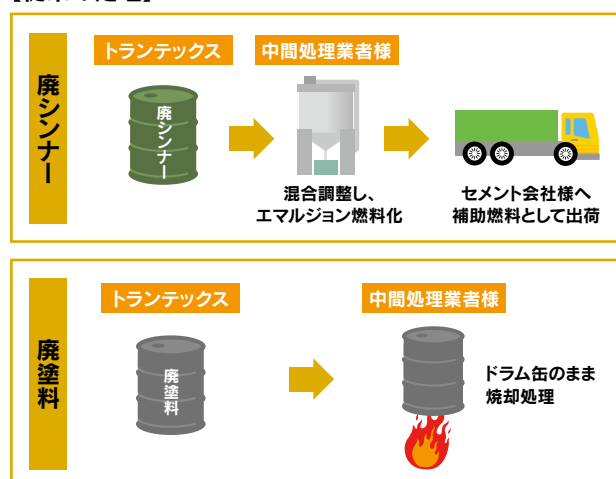
省エネルギー・省資源・環境リスク低減

リサイクル・省資源

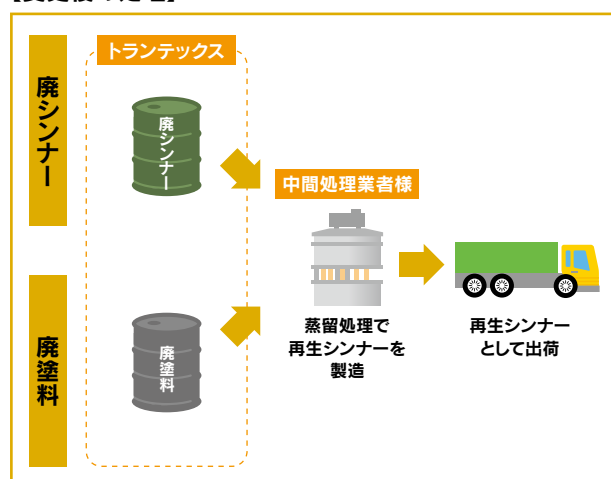
廃塗料・廃シンナーの処理方法変更

これまでは廃塗料は焼却処理、廃シンナーはサーマル燃料としてリサイクル処理を行っていましたが、中間処理業者様のご協力をいただき廃塗料・廃シンナーともに再生シンナーの原料としてマテリアルリサイクルにシフトすることができました。これからも環境負荷の少ない処理を積極的に進めていきます。

【従来の処理】



【変更後の処理】



省エネルギー活動

LED化の推進

工場内・事務所内にある蛍光灯及び水銀灯からLED等の省エネルギータイプのものへの切り替えを2012年度から実施しております。2015年度は工場内の2棟分として119灯の切り替えが完了しました。今後も計画的に切り替えを進め、省エネルギー化を進めていきます。



水銀灯はLEDへ切替え

コンプレッサーの更新

工場内のメインエア源として稼動しているコンプレッサーを省エネタイプのものに更新しました。この更新により約40%の使用電力量の削減となり、CO₂削減に寄与することができました。



省エネタイプのコンプレッサー

環境リスク低減活動

環境及び周辺住民の方々への配慮のもと、環境リスクの抽出と改善を行っています。2015年度は敷地外への複数の雨水放流口のうち1ヶ所について水門を設置し、異常排水流入時の社外への遮断ができるようになり、また、敷地西側の一部には防音壁を設置しました。これからも計画的に整備を進め、環境事故の未然防止と周辺環境への配慮を図っていきます。



緊急遮断用の水門



敷地西側の防音壁

調 達

基本的な考え方

当社は当社の製品が業界トップの位置を確保できるよう、仕入先の皆様と協力して、ともに発展していくことをめざしています。仕入先様には、コスト・品質・納期の最高レベル実現に向けた調達方針を提示するとともに公正な取引の維持を心がけています。

仕入先様との交流

当社では毎月、仕入先様と仕入先会議を開催し、生産計画の情報提供と品質アップのための仕入先様による品質改善事例発表会を行っています。その他、工場内および周辺での交通ルールの遵守やマナー向上の呼びかけなど、地域社会との共生に係わることも展開を行っています。

また、毎年1回、仕入先総会を開催し、当社の年度方針・調達方針をお伝えさせていただき、また年間を通じて原価改善活動や品質管理活動にご功績をあげていただきました仕入先様を表彰させていただいております。



会議の様子



受賞者の皆様

調達方針

当社の商品が、最高の価格競争力を確保できるように、広く世界に門戸を開き、最適な仕入先を選定することにより、

1. ミニマムな価格
2. 最高の品質
3. タイムリーな納期

を実現し、商品の拡販と当社の収益拡大に貢献する。

社会貢献活動

学生スポーツの支援

青少年の健全育成と能力向上支援のため、卓球部の選手が指導を行わせていただいております。現在は石川県内の数校に定期的に訪問させていただき、学生との交流を続けています。

海岸清掃活動

2015年度も石川県海岸全域の清掃活動「クリーンビーチいしかわ in はくさん」に従業員とそのご家族の総勢約130名で参加しました。

今後もこのような地域イベントへの積極的な参加を続け、環境美化に貢献していきたいと考えております。



参加者で集合写真



たくさんのゴミが集まりました

会社見学の受入れ

小学生・高校生・各種団体様に会社見学でお越しいただきました。小学生は社会科学習での「ものづくり」を実際に学ぶ機会として、高校生は製造業で働くという職業観を養う機会として、また、各種団体様は様々な学習目的の一環としてご利用いただいております。

これからもご来社いただく方々のご一助となれますよう、積極的に取り組んでまいります。



参加者で集合写真



車両を使つての説明



会議室での会社概要説明

工場周辺清掃活動

2004年3月から本社工場周辺道路を中心に、毎月1回清掃活動を行なっています。（2016年3月現在で通算139回実施。）勤務時間前の30分程度の時間を利用しており、毎回、多くの従業員が参加しています。近隣の美化に貢献させていただきだけでなく、従業員のボランティア意識の向上にもつながっており、引き続き実施していきたいと考えております。



多くの従業員が参加



ゴミの量は年々減少中

コンプライアンス

当社ではコンプライアンスの実践を経営の重要課題と考えており、全社的なコンプライアンス風土醸成のに向けた取り組みを継続的に実施することで、あらゆる場面で公正な判断・活動ができる企業集団を目指していきます。

「トランテックス行動指針」

「トランテックス行動指針」は、基本理念の内容を受けて、各ステークホルダーの皆様の期待に応えるために「社員一人ひとりがどう行動すべきなのか」を具体的に明記した内容となっております。

私たちは、この「トランテックス行動指針」を日々の仕事の手引書として活用し、また合わせてコンプライアンスガイドブックを活用することで、法令順守を徹底していきます。そして、各ステークホルダーの皆様の期待にお応えしていきます。



コンプライアンス教育

役員・管理職を対象としたコンプライアンスに関する講演会を開催し、近時のコンプライアンス違反事例を通じて違反行為がもたらす企業への影響や、それぞれの立場で違反が起きないように実行すべきことを再確認するとともに、労務管理についても概念・規律の仕組み・ルール順守について理解を深めました。また、全従業員対象にもコンプライアンスの重要性について各職場単位で勉強会を実施しました。今後も継続して教育を実施し、コンプライアンス違反が発生しない、職場作りを行っていきます。

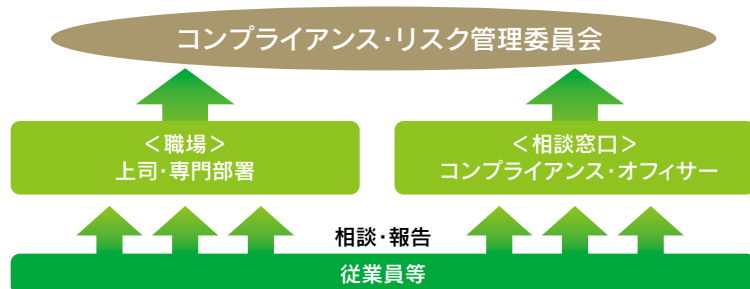


コンプライアンス講演会

コンプライアンス相談窓口

従業員がコンプライアンスに関する問題に遭遇した場合、職場を補完する相談先として、コンプライアンスオフィサーを設置し、社内への周知を図っています。社員等は直通の電話またはE-mailにてコンプライアンスオフィサーに直接相談・報告することができます。また、日野グループとして、外部の法律事務所への相談窓口も設けられています。

【参考：従業員の相談・報告ルート】



コーポレートガバナンス

当社は基本理念に基づき、各ステークホルダーの皆さまの期待と信頼に応えるため、コーポレートガバナンスの強化を経営の最重要課題と考えております。具体的には経営の透明性を確保するため、株主総会・取締役会・監査役会・会計監査人などの法定機関の設置を行い、また迅速な環境変化への対応と意思決定を図るため、経営判断に基づく業務執行レベルの判断を行う執行役員会を毎週開催するなどの体制を構築しております。

取締役会

会社法で定める重要事項や経営に係わる重要事項の審議決定機関として、原則毎月1回開催しています。また、取締役の任期は、経営責任を明確にするため1年とし、非常勤取締役を1名選任しております。

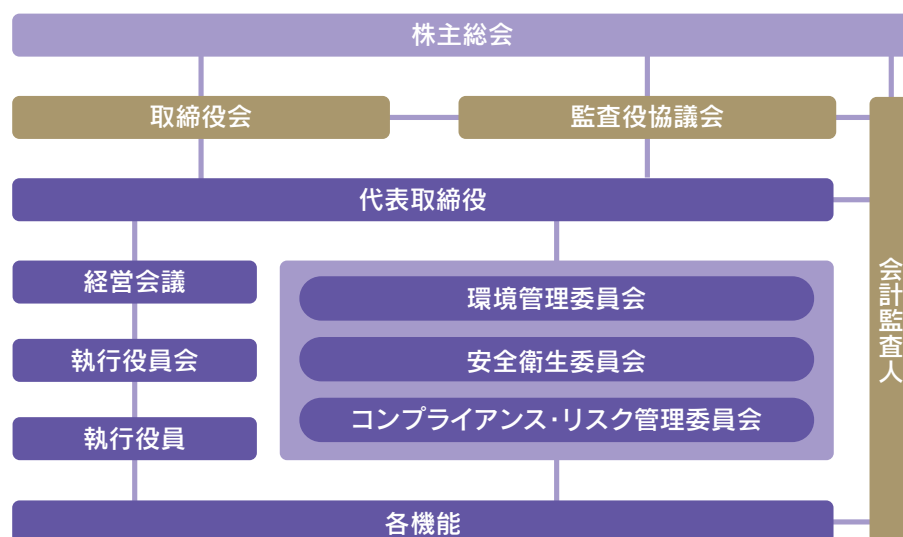
監査役会

取締役会の監督機能をより強化するため、常勤監査役以外に2名の非常勤監査役を選任しております。

会計監査人

2015年度はPwCあらた有限責任監査法人を選任いたしました。

【コーポレートガバナンス体制図】



編集にあたって

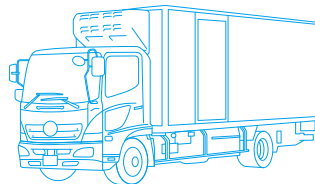
本レポートは、当社を取り巻くステークホルダーの皆様に当社の活動を深く理解していただき、さらなる信頼をいただくことを目的としています。お読みいただいた皆様とのコミュニケーションツールとして、わかりやすく表現するよう心がけました。

対象範囲・対象期間

原則として2015年度（2015年4月～2016年3月）の実績や取り組みを対象としております。但し、一部の内容については、本レポート発行直前までの活動も記載しています。

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン（2012年度版）」を参考にし、編集しています。



Corporate Social Responsibility Report 2016

本報告書の内容や当社の環境への取組みなどについて、ご意見、ご質問などがございましたら、下記までお問合せください。

株式会社 **トランテックス** 総務・人事部

〒924-8580 石川県白山市徳丸町670番地
TEL(076)274-2806 FAX(076)274-8191

ホームページアドレス <http://www.trantechs.co.jp/>

発行日 2016年 11月

※この報告書はトランテックスホームページ上でもご覧いただけます。



古紙配合率100%再生紙を使用しています

